



「フィジカルインターネット実現会議・化学品ワーキンググループ」がトラック附帯作業の適正化およびタンクローリー荷役作業の安全向上に向けた取り組みを推進





経済産業省・国土交通省が主導する「フィジカルインターネット実現会議」内に設置されている「化学品ワーキンググループ」(座長:流通経済大学 矢野裕児教授)は、2025年4月施行の改正物流関連法および2026年1月施行の中小受託取引適正化法を踏まえ、化学品物流における「トラック附帯作業の適正化」および「タンクローリー荷役作業の安全向上」に向けた取り組みを推進しており、このたび、関係者の理解促進のためのリーフレット・パンフレットを作成しました。


「化学品ワーキンググループ」には、現在、荷主事業者、物流事業者を中心とする86企業・1大学、日本化学工業協会、石油化学工業協会、経済産業省・国土交通省・厚生労働省の関連各部署等が参加しており、東ソーは、三菱ケミカル株式会社、三井化学株式会社および東レ株式会社とともに事務局を務めています。


詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

 **【添付資料】**トラック附帯作業の適正化およびタンクローリー荷役作業の安全向上に向けた取り組みについて
(1.2 MB) 

関連情報

-  **【ニュースリリース】**「フィジカルインターネット実現会議・化学品ワーキンググループ」が共同鉄道輸送を実証、同一コンテナでの往復・連続運行の可能性を確認
-  **【ニュースリリース】**「フィジカルインターネット実現会議・化学品ワーキンググループ」が東海・中国地区での鉄道輸送による共同物流の実証実験を開始
-  **【ニュースリリース】**「フィジカルインターネット実現会議・化学品ワーキンググループ」が2025年度の活動方針を報告
-  **【ニュースリリース】**「フィジカルインターネット実現会議・化学品ワーキンググループ」による共同物流の実証実験結果について

 **【ニュースリリース】「フィジカルインターネット実現会議」における「化学品 WG」の設置について～“2024 年問題”に向けて化学業界の共同物流を加速～**

 **化学品に関する物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画**